

京築神楽 瓦版

京築応援団便り付録

イラスト・文：トヨヒメ
監修：クリボウ

京築神楽豆知識

京築神楽定期公演などで上演している紙芝居「しっちゃん京築神楽」。神楽を楽しく見るための豆知識を紹介していきます。この瓦版では、紙芝居に描かれている神楽についてのあれこれをイラストでわかりやすくお伝えします。

一、神楽とは？

五穀豊穡や無病息災に感謝して、神を迎え神と楽しむために舞を奉納することです。

二、京築に伝わる里神楽



旧豊前の国である京築地域の里には、昭和のはじめまでは、約50の神楽団体がいましたが、現在も30を超える神楽団体が、豊前岩戸神楽(豊前神楽)を伝承しています。
構成は、儀式としての神事性の強い「式神楽」と氏子からのリクエストで演じられる「奉納神楽」があり、四季折々の神事を彩り、地域の人たちに愛され受け継がれています。
里神楽の魅力を感じるために、各地の神社に出かけてみませんか？



三、神楽の舞台

神楽を舞う場所に、神様をお迎えるための装置です。
東西南北の四方に笹竹を立て注連縄を張って結界をつくり、祭壇に海の幸山のを供えています。



四、神楽のお囃子

神様を天からお招きし、神様と楽しむための音楽をお囃子と呼び、お囃子を演奏する人を囃子方と呼びます。

三種類の楽器

「太鼓・鉦・笛」を使います。

太鼓 お囃子のリズムをとる、演奏のテンポを決めリードしていく役割を果たします。神楽講では代々受け継がれてきた太鼓も多く、太鼓の音は魔を祓う力があるといわれています。

鉦

銅拍子や「チャンガラ」などとは異なり、太鼓の音と組み合わせ、お囃子の調子をつける役割を果たします。にぎやかな地上の音を表しているといわれています。神楽のお囃子には楽譜がなく、口で伝え耳で覚えて次の世代へ伝えられています。

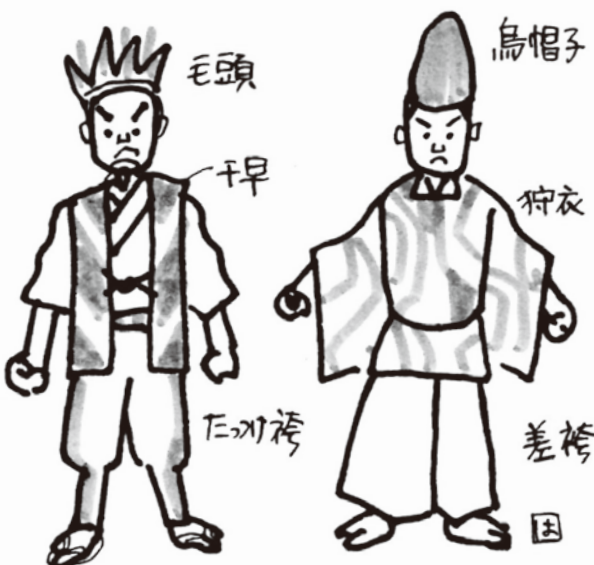
笛

竹でつくった横笛で、お囃子のメロディを演奏します。笛は自作する人が多く、指穴は六穴(一般的には七穴)が特徴です。笛の音色は、神様の声を表しているといわれています。

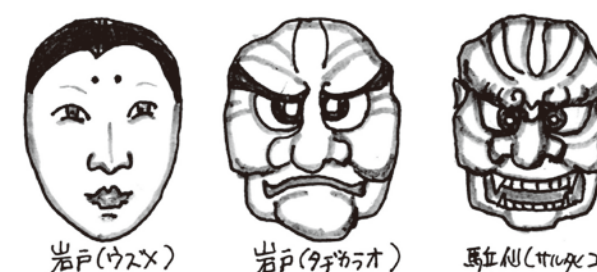


五、神楽の衣装

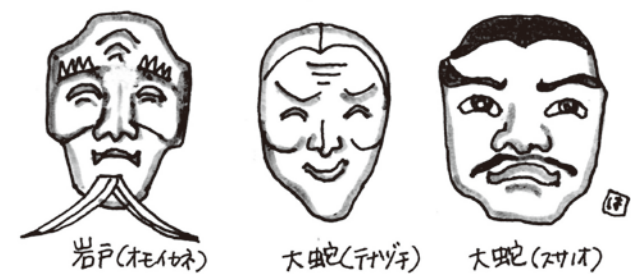
神楽の衣装の基本は、穢れのない白無垢の上に「差袴」「狩衣」と呼ばれる上着に「烏帽子」を被ります。動きの激しい演目では、白無垢の上に袴の裾をしぼった「たっつけ袴」をはき、「千早」とよばれるチョッキを羽織ります。また、頭には「シャグマ」や「毛頭」と呼ばれる毛のついた被り物をつけ、躍動感を表します。



六、神楽面



神楽では、面は重要な役割を果たします。演じる役に合わせて、鬼の面(あ形・云形)、姫の面(お姫の面)など、特徴ある表情豊かな面を身につけ、役になりきることが出来ます。また、面をつけることで、霊的な力が宿り舞う人を守ってくれると考えられています。面は神楽講の中で、代々受け継がれていますが、神楽講手作りの面も多くあります。



七、神楽の採り物

神楽は素手では舞いません。手には「採り物」と呼ばれる道具を持ちます。「採り物」にこめられた意味を知ることが、神楽の興味も深まります。



鬼杖・死還杖

京築神楽の代表的な演目「仙神楽」の演目、用いられ、鬼の強い霊力を表しています。



植物の採り物

一年中緑の葉を持つ笹や榊が用いられます。笹のサラサラその音は、神様のささやきと聞いています。



幣(へい・ぬさ)

紙を切り竹に刺したもので、もともとは、神官が魔を祓い、お清めに使う道具です。

舞扇

神楽の様々な場面で用いられる扇子です。

鈴

30センチほどの棒にたくさんの鈴をぶら下げたものが使われます。音には魔を祓う力があると考えられています。

太刀・弓矢

太刀は悪を退治し、弓矢は魔を射落とす神聖な力があるといわれています。



※神楽講によって、面や衣装、採り物の呼び方、用い方などに違いがあります。違いや工夫も楽しみながら味わってください。次号は演目について特集します。

京築神楽の里
フェスティバル
11月19日(土)
10:00~16:00
入場無料 ※事前申込み不要
■会場 みやこ町中央公民館
みやこ町犀川本庄641-1
京築神楽7団体や大分県の神楽が
出演！当日は、みやこ町産業祭が同
時開催。地元料理や特産品を味わい
ながら、神楽を堪能してください！
●問い合わせ
京築連帯アメニティ都市圏
推進会議事務局
(福岡県広域地域振興課)
☎092-643-3178